

日本学校音楽教育実践学会  
第29回全国大会  
セミナー

# 領域横断的な視点が切り拓く 音楽教育の新たな世界

## その2ー理性と感性の接点ー

私は12歳のころから短歌を作り続けてきました。一方で、細胞生物学の研究者でもあります。ふたつの世界は全く異なるように見えるかもしれませんが、一人の人間の中で無理なく共存するものです。理性と感性は、どのように影響を与えあうのか。同じ現象に対して、どのようなアプローチの違いが生まれるのか。異なる分野を行き来することで見えてくる、新たな可能性について考えてみたいと思います。ー永田紅

**講師** 永田紅氏  
(歌人・細胞生物学)

**日時** 2024年  
8月23日(土)  
10:00~12:00

**会場** 広島女学院大学  
人文館3階303講義室

**参加費** 2000円

**お問い合わせ**

日本学校音楽教育実践学会第29回全国大会実行委員会  
森保 尚美(広島女学院大学)  
MAIL: jissen.hiro29@gmail.com

永田紅氏  
プロフィール

歌人、細胞生物学研究者。  
京都大学特任助教。細胞膜に  
興味をもち、善玉コレステロ  
ール産生を担う膜タンパク質  
の研究を行っている。  
歌集に『日輪』(現代歌人協  
会賞)、『北部キャンパスの  
日々』、『ぼんやりしている  
うちに』、『春の顕微鏡』、  
『いま二センチ』(若山牧水  
賞)、エッセイ集に『家族の  
歌』(共著)がある。



**申込**

Peatixによるオンライン決済  
(<https://ongakujissen2024.peatix.com/>)

